

《Japan Tariff Association》

## 関税 メールプレス

(No. 558) 2019. 6. 17 発行元：日本関税協会 長崎支部

TEL:095-825-0557

Fax:095-825-1748

<http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

### 2019年度定時支部総会等を開催しました

6月14日(金)、長崎市の「ザ・ホテル長崎」で2019年度定時幹事会・支部総会・講演会が開催されました。

定時幹事会では、平成30年度事業報告・決算報告及び2019年度事業計画・予算案についての審議が行われ、満場一致で原案のとおり承認されました。

[定時幹事会での審議の様子]



引き続き開催された総会では、本部から富山教育・セミナー部長をお迎えし、各地区から約130名の会員の皆様にご出席いただきました。

冒頭、宮脇支部長から、「本年4月11日に、長崎税関との間でMOU(密輸情報連絡の覚書)を締結し、税関との協力関係をさらに強化している。経済活動や国民生活へ少なからず影響を与える国際的な動きに対し、関係者をはじめ国民の関心高く、関税協会が果たす役割は益々高くなっている。」旨の挨拶がありました。



[宮脇支部長の開催挨拶]



[支部総会の模様]

その後の講演会は、長崎大学経済学部教授 長谷川 実也氏を講師にお迎えし、「貿易自由化と保護主義～補論：原産地規則の貿易に与える影響～」と題して講演をいただきました。

貿易自由化による世界のこれまでの動きや、大国による最近の保護主義に向けた動き、FTA原産地規則の簡素化への動きなど、これまでの豊富な経験を踏まえ分かりやすい解説をしていただき、会場を埋め尽くした会員の皆様は熱心に聴講されました。



[長谷川 氏による講演会]

長崎税関幹部の方々にもご出席いただいた懇談会は、江口税関長のご挨拶で始まり、終始和やかな雰囲気の中会員相互の懇親が深められ、三池港物流(株)代表取締役社長 谷村氏の中締めで盛会のうちに幕を閉じました。